今後の新たな感染症に備える医療提供体制に係る対策についてのアンケート

２０２１.１０／高知保険医協会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、「医療ひっ迫」「医療崩壊」などと言われる事態まで引き起こし、十分な医療を受けられないまま命を失う事例が多く発生することとなりました。いま現状を打開することが必要であると同時に、今後起こりうる新たな感染症への備えを進める必要があります。そこで、今後の医療提供体制に関しての対策についてのご意見をいただきたく、会員の皆様にアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

以下についてご回答いただき、FAX（088-832-5229）あるいは返信用封筒でご返信ください。当協会ホームページの「お問い合わせ」からご意見をお送りいただいても結構です。10/18（月）締切とします。

１，新型コロナウイルス感染症に係る特例として設けられていた「感染対策実施加算」が９月末をもって廃止となった。基本的な感染対策を日常的に行っていくための設備、人材配置のための費用の評価は不十分で、診療報酬で恒久的に評価を行うべきである。

①そう思う　②そうは思わない　③どちらでもない

ご意見（　　）

２，感染症指定医療機関とその病床（高知県では「新型コロナ」感染拡大以前は９床だった）を、国の責任で、公立病院を中心に増やし、必要な人員の配置や設備も確保して、非常時に備えた研修等も日常的に進めておくべきである

①そう思う　②そうは思わない　③どちらでもない

ご意見（　　）

３，民間病院でも新興感染症の感染拡大時への対応を速やかにとれるために、日常的な研修等と非常時の対応への人員の派遣等の支援の仕組みを作るべきである。

①そう思う　②そうは思わない　③どちらでもない

ご意見（　　）

４，感染症の感染防止対策のための動線の確保、ゾーニング、その他設備の設置のための財政的支援の仕組みを、平時から作るべきである。

①そう思う　②そうは思わない　③どちらでもない

ご意見（　　）

５，医師の絶対数は不足している。医師、看護師、薬剤師をはじめとした医療従事者の確保、養成を国の責任で進めるべきである。

①そう思う　②そうは思わない　③どちらでもない

ご意見（　　）

６，その他感染症に係る医療提供体制について、ご意見があればお書きください。

先生ご自身はどちらの 先生ですか？（〇印を）　医科・歯科	もしお構いなければご記入ください 医療機関名　　お名前